令和２年度第２回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

議事録

日　　時：令和２年１０月９日（金）　午後６時から
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出 席 委 員：山内　正雄（委員長）、澤井　芳美（副委員長）、逸見　企代江、
：上田　小夜子、平中　学、大宮　康一

※ 委員６名中６名全員の出席であり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事　務　局：瑞　　浪　　市　　長　水野　光二
事　務　局：まちづくり推進部長　景山　博之
事務局職員：市　民　協　働　課　長　工藤　嘉高
事務局職員：まちづくり支援係長　渡辺　裕
事務局職員：ま ち づ く り 支 援 係　中筬　高弘

次　　第：

１．市長あいさつ
２．委員長あいさつ
３．活動報告
・令和元年度　夢づくり市民活動補助金事業
・令和元年度　夢づくり地域交付金通常事業
・令和元年度　夢づくり地域交付金ステップアップ事業
４．講評
５．閉会

【次第１　市長あいさつ】

皆さんこんばんは。新型コロナウイルスの影響が様々なところであり、私も、皆さんにこうしてお会いするのも久しぶりに感じます。ただし、新型コロナウイルスに負けているわけにはいきません。まちづくり活動もしっかりやっていかなくてはという思いでいます。９月に入りましてから、いろいろな活動にもある程度本格的に活動できるようになってまいりました。まちづくり、経済活動も並行していかなければならないという思いでもいますので、ご理解いただきたいと思います。また、本来はまちづくり推進組織が一堂に会して、まちづくり活動の報告を、別の地区が聴いて、皆で活動内容を共有・勉強するといったことも本審査会では行われているところです。しかし、これもやはり新型コロナウイルス感染防止のため、今回のように入れ替わり制での報告となりました。今年度はいずれの地区についても活動が行えていませんが、昨年度については、しっかりと活動していただいていますので、その報告をいただけるものと思いますので、よろしくお願いいたします。また岐阜大学におかれましては、当市と域学の連携協定を締結していただいて、これから更に協力・結びつきを強固にしていくことを目標に市政・大学での教育など様々な場面で連携活動をしていけたらありがたいなと思っています。せっかく多くの学生さんたちを擁する岐阜大学さんと協定を結んだのですから、学生さんたちに実際に来ていただいて、瑞浪を一つのキャンパスとして実践的な活動の場ともしていただきたいとも思っています。今回お越しの岐阜大学の大宮先生におかれましては、実践的な活動へと繋げるためにも気づかれたことをどんどんご指摘いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【次第２　委員長あいさつ（山内委員長）】

市長さんのご挨拶にもあったように、新型コロナウイルスが猛威を振るっているわけですが、昨年度の事業で影響があったのは、今年の３月頃かと思います。報告書を拝見しますと、そのあたりから中止などといった文言が記載されていることからしても、今年度はやはり対応に苦慮されているのであろうなと思っています。こうしたコロナ禍にあるわけですが、地域活動・経済活動が一日でも早く元に戻ることを切に願っています。本日は、昨年実施された事業について、審査委員一同、慎重に審査していきたいと思っております。ただ、この報告書をみておりますと、委員をさせていただいていますが、事業内容が毎年同様なものが見受けられます。そうした事業については、効果の面などについて見直しを含めて検討をする必要性も感じております。いろいろな意見等があるかとは思いますが、公的な資金を使う事業でありますから、そうした検討の必要性について、申し述べさせていただきました。いずれにしましても、今回は新型コロナウイルスの影響により、変則的な審査会になっておりますので、少々戸惑いはあるわけですが、委員の皆様におかれましては、積極的なご発言をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【次第３　活動報告】

令和元年度　夢づくり市民活動補助金事業

≪事務局よりまとめて報告≫

令和元年度　夢づくり地域交付金通常事業

≪瑞浪地区≫

※報告後

〇委員

土岐川ウォーキングがかなり盛況な感じをうけますが、そのように広まった要因はどのあたりにあると分析していらっしゃいますか。

●瑞浪地区

何年も続けていくことで、徐々に口コミで広がっていったことが要因かと思います。私も正直申しましてここまで広まることを想定していませんでした。何か名物があるわけではないです。ですが、土岐川景色も良い川だということを知ってもらいたくて始めたことで、一度参加されると、意外にいい運動にもなりますし、景色も良いので、また次年度も参加してくださるということが多いように感じています。あとは今の時代の流行ですが、フェイスブック、インスタなどで写真を投稿したことも影響されているのではないかと感じています。

〇委員

そうするとそういった各種ツールも使いながら、継続されたことの賜物ということですね。

〇委員

事業はこの事後評価調書を拝見しますと、すべて継続ということでよろしいでしょうか。

新しく始める事業もあったり、廃止する事業もあったりといったことはないですか？

●瑞浪地区

はい。調書のとおりすべて継続する事業ということで考えています。長く一つの事業を行ってきていますが、方法を変えたり、切り口を変えたりして、いろいろ考えて行っています。青色パトロール回転灯事業がなかったころには、犬の散歩をする方に袋を配布しつつ、散歩がてら、交通安全を見守ってもらうということもしてきました。趣旨は同じですが、方法等を変えて行ってきました。

一つの事業を様々な角度から検討して、形を変えて、少しでも地域のためになるものを行うことを目的としています。芋煮会についても少しずつやり方を変えてやってきています。今年については、芋煮会という形ではなく、家族を絞って芋堀大会を行っていく予定です。

〇委員

芋煮会については、お餅からおこわに変更されていますが、どうしてですか？

●瑞浪地区

お餅が良かったのですが、保健所の指導でおこわになりました。

〇委員

蛍について気になるので質問ですが、放流等の状況はどうですか？6月くらいに飛びましたか？

●瑞浪地区

飛びましたが、乱舞とまではいかない状況でした。風流な雰囲気ではありました。今年は特に雨が多

いこともあって水が多いと流れてしまうこともありまして。一晩に２０～３０匹くらいが飛ぶ状況でありました。

〇委員

自然繁殖はしないのですか？

●瑞浪地区

なかなか難しいところです。餌となるカワニナはかなり水が綺麗でないと生息が難しいようです。

〇委員

インスタ映えコンテストはいいアイデアだと思ったのですが、これはどうでしたか？

●瑞浪地区

はい。やはり、投稿はあるのですが、瑞浪地区がはっきり認識されていないこともあって、瑞浪市全体での写真が投稿されてきました。ですが、これも継続的に行っていけば、広がっていくのではないかと考えています。

【講評（市長)】

報告の中でもありましたが、一つの事業について、やり方、切り口を見直し、継続しているといったことは、大変素晴らしいことだなと感じました。もう一つは地区内にある他団体を巻き込んで事業を行えていることだと思います。他団体だけでは、難しいこともまちづくり推進協議会がまとめることで、大きな成果を生むことのできるイベント等になっていけると思います。これからもぜひ他団体をまとめて、中心になって、より大きな成果に繋げていただきたいし、各団体の支援もお願いしたいと思います。ありがとうございました。

≪稲津地区≫

※報告後

〇委員

２４名の中学生ボランティアはどのようなことを手伝われましたか。

●稲津地区

ふれあい映画館をお手伝いしていただきました。まずは会場準備です。その後チケットのもぎりなど、様々なボランティアをしていただきました。相手の立場に立っての心配りも見えました。

〇委員

休耕田をご活用されているとのことですが、その休耕田は所有者さんのご厚意で利用されているのか、まちづくりさんが所有されているのかどういう状況でしょうか。

●稲津地区

休耕田はその土地の所有者さんに貸していただいています。

〇委員

昨年度の事業を実施されて、課題等が出てくるかと思いますが、昨年度の事業でそのような課題等を

感じたのはどういった点でしたか？

●稲津地区

我々が目標としているのは、地域の交流です。ふれあい映画館なんかでも、リピーターとして今回も来てくださったと思われる方がたくさんいて、ありがたいことですが、今度は、それをどうやってまだ来ていただいていない方に広げるかといったことが課題となっています。

〇委員

芋堀をした際の芋は今年度どのようにされるのですか？

●稲津地区

今回はコロナの対策上、調理等はせず、新鮮な芋をお配りしたいと思います。また稲津にも福祉施設がありますから、掘ってみた状況で検討することとなりますが、福祉施設にも配りたいと思っています。

【講評（市長）】

稲津は８つあるまちづくり推進組織の中で、唯一 NPO 法人として法人化されています。そのため法人としての組織づくりができていると思います。組織としての機動力もあり、予算の管理等もしっかりしてやっていただいていると思っています。審査員の皆さんも見ていただきましたが、報告書にある写真のように本当に笑顔で元気でまちづくりをされてみえます。また、稲津については、役者が多く、歌が歌える方、ギターが弾ける方など、様々な得意分野を持った方がたくさんいます。ですから、どのイベントも結構見ごたえのあるイベントとなっているものが多いと思います。土神と狐のような劇も大変感動した記憶があります。そうした力のある町民の方をうまく巻き込んでやっていただいている。これは稲津の宝だと思いますが、これからもそうした瑞浪の将来を担う方の発掘、まちづくりを期待しています。

≪釜戸地区≫

※報告後

〇委員

釜戸日曜楽市ですが、４００人も集まったとのことですが、町内、町外は、どちらのほうが多かったですか？

●釜戸地区

どちらが多いかは分かりませんが、出展者の方については、町外半分、町内半分でしたので、その出展者の友人等も来ていただいていたようですので、参加者も半分半分くらいだったのではないかと思っています。

〇委員

出展者３１店で、飲食関係５店となるとほかはどんなお店だったのですか？

●釜戸地区

釜戸には竜、河童、白狐と３種類のキャラクターがいます。それぞれのゾーンに分けまして、野菜のゾーンであったりというように分けて出店していただきました。

〇委員

健康マイレージ事業では、ポイント達成者は何人くらいいましたか？

●釜戸地区

正確には把握しておりませんが、７ポイントで達成ですが、１００名くらいは達成したのではないかと思っています。

〇委員

インスタコンテストは、瑞浪市全体を対象にした写真等も送られてきましたか？

●釜戸地区

ほとんど町民の方で、釜戸の写真が多く寄せられました。県外の方からの釜戸の写真はなかったと記憶しています。

【講評（市長)】

どれもこれも魅力的な事業を取り組んでいただいて、紆余曲折を経ながら今の事業に絞り込んでいただいているのかなと思います。昨年の事業で一つ嬉しかったのは、チャレンジ研究室の取り組みを本当にうまく取り入れていただいて、今のインスタ映えのコンテストも開催していただいたわけです。チャレンジ研究室の学生たちも、さぞや達成感があったのではないかと思います。

またなんと言いましても、釜戸はもうすぐ道の駅ができるといったことで、ものすごいビックチャンスが到来しています。そこへ向けてさらにこのまちづくりを盛り上げていただいて、道の駅へぜひとも参加いただくことも期待しております。

≪大湫地区≫

※報告後

〇委員

防火水槽を新しくしたことで、町民の方の意識に変化はありましたでしょうか。もし目に見える部分の成果がありましたら教えてください。

●大湫地区

特別大きく意識が変わったとは思いませんが、防災に対する意識は高まったと思っています。

〇委員

夏祭りでは中学生、瑞浪北中の子がボランティア来ているようですが、釜戸・大湫出身の子が多いのでしょうか？

●大湫地区

北中の精神としてボランティア活動を積極的にすることを掲げていらっしゃいますので、釜戸の子も、大湫の子もまた、日吉の子もいて、非常にたくさんの子が来ていただけました。

【講評（市長)】

大湫は今年度いろいろありました。大杉が倒れて、今度はその再生検討会議をしていただいています。

大湫は観光の町ですので、次につながるような保存活用に向けて検討されています。
大湫のまちづくりの特徴としては、他の地区のまちづくり組織はイベント、お祭りといった地域活性化を図る事業が多いです。しかし大湫は、もう一つの柱である、地域の課題解消を念頭においた事業を積極的にしていただいています。昨年度の防火水槽などもその表れであると思います。ここについては、他の地区も参考にしていただけるといいのかなと思っています。これからも大湫宿のためにまちづくりによりいっそう力をいれていただけることを期待しています。

≪日吉地区≫
※報告後

〇委員

特産品開発の箇所ですが、しいたけ粉末のいろいろな色の瓶あるようですが、どの色がどのようなものなのか教えてもらえますか。

●日吉地区

左からブロッコリー、ウコン、オレンジ色はニンジン、パセリ、シソ、ゆずなどです。

〇委員

こちらの具体的な活用方法を教えてください。

●日吉地区

しいたけを粉末にして、パンに練りこんだり、おかしに練りこんだりできるので、サンプルにして提供しています。

〇委員

商品化はしないのですか。

●日吉地区

商品化するには野菜の確保等が必要ですので、今はまだそこまではいっておりません。

〇委員

里山体験学習とはどのようなことをされていますか。

●日吉地区

出前講座として、里山の体験をしていただいています。天狗塚といったところがありまして、そこで生えている木などを教えたりもしています。

〇委員

日吉は中山道も特徴だと思いますが、中山道の整備は夢づくり以外の資金等で行われていますか。

●日吉地区

はい。部会で交代して整備しております。また東海自然歩道も通っていますので、そういった整備もしています。

【講評（市長)】
日吉のまちづくりですが、ステップアップ事業もうまく使われていまして、天神窯などでも使われています。また何と言いましても、唯一、収益事業を行われています。原木しいたけ、乾燥しいたけを作られていまして、将来的には収益だけで事業が成り立つという、理想も掲げていらっしゃいます。ぜひともその理想を達成いただいて、雇用も生むような事業に成長させていただきたいと思います。これからもそういった商品開発、雇用、生産といったサイクルが成り立つ、６次産業化も目指していただけると良いと思います。

≪明世地区≫
※報告後
〇委員
従来の住民と新しく越してこられた方の交流が課題だとおっしゃってましたが、まちづくりだよりはどなたでも、つまり全世帯に行き渡るようにされていますか。
●明世地区
まちづくりだよりは、自治会の入会者のみへの配布とはなっております。ただし、公共施設等には多めに印刷をして配布してありますので、そちらで入手していただいたり、見ていただくことは可能となっています。興味のある方、関心のある方は手に取っていただけます。

〇委員
新しく越してこられた方は事業に参加されていますか。
●明世地区
その辺りがまさに課題となっている部分です。越してこられた方の年齢層等にもよるのですが、子どもさんがみえる、比較的若い世代については、小学校にまちづくり推進組織が出向きました。昨年の夏でしたが、親子ふれあいの事業でして、父兄や学生さんたちもいらっしゃる、そういった場で、積極的にお知らせさせていただき、自治会に加入してみえない世帯でも参加していただけるようにご案内いたしました。

〇委員
チャレンジ研究室の方にお手伝いいただいた、五平餅については、既製品を使用されましたか。
●明世地区
保健所の関係でチャレンジ研究室の方に前日作成いただいたものを保管したものと、既製品を使用したものがあります。２５０本用意しましたが、すべて完売いたしました。

〇委員
町民ウォーキングで２００名の参加があったとのことでしたが、高校生も多くの方に参加いただいたのでしょうか。

●明世地区

残念ながら高校生はチャレンジ研究室の方だけでございました。時期としても受験、推薦の関係でなかなかご参加はいただけませんでした。本来はもっと来ていただきたかったですが、今後は高校生にも多く来ていただけるように、目標としていきたいです。

【講評（市長)】

明世地区は公共施設が多く揃った地区でして、そういったことも強みにしてまちづくりもしていただいております。明世ウォッチングの事業ですけども、単にウォーキングしていただくだけでなく、それぞれテーマを設定していただき、その地域の歴史であったり、防災倉庫であったりを見学や、確認をしながら歩いていただいています。また、その中で新しい発見をされることもあると思います。意外と地元の方が地元の良さに気付かないといったことがありますので、そんな工夫を取り入れていただいている、本当にいい取り組みだと思います。ぜひ明世地区の隅々まで歩いていただきたいと思います。

もう一つはやはり、自治会の加入率が低いというのは、我々行政の課題でもあり、明世地区の課題でもあるのかなと思います。まずはいろんな地域の活動、まちづくりの事業に参加いただき、明世はこんな良い街なんだと、そう認識していただくことで、自治会に加入いただくという順序でもいいと思いますので、楽しさを満喫していただいて、自治会の加入率のアップも目指していただきたいと思っています。こいのぼり祭りですが、現在は協力いただく形になっていますが、可能であれば、これからは、市と一緒に共催者として、まちづくりの事業の柱に位置付けていただくことも検討願いたいと思います。

≪陶地区≫

※報告後

〇委員

先進地研修の事業について、今後、得られた情報をどのように地域の方へ共有される予定でしょうか。

●陶地区

現在、具体的には決まっておりませんが、地域の防災会が２週間ほど前、陶で避難訓練を行っていただいたので、一つの方法としては、地域の防災のリーダーを輩出するためにも防災会と連携して行っていきたいと思います。

〇委員

陶板の設置場所等は決まっていますか？

●陶地区

床に張るのではなく、立てて、看板のようにしてきたいと思っています。金属で囲って、しっかりと固定して飾りたいと考えておりますので、工法や設置場所についても慎重に検討してまいります。

【講評（市長)】

瑞浪で一番歴史のあるまちづくり推進組織です。過去にも大きな実績を残してみえます。お話にもありましたが、陶町は防災と福祉のまちということを掲げておられ、しっかり、課題を見据えた事業を実施されていることに敬意を表したいと思います。特に、昭和４７年の大災害の際にも被害者も出ています。

大変な過去を背負って、防災に力を入れていらっしゃる。そういうことで、先進地への研修もされて、良いところは取り入れて、アレンジしていっていただきたいと思います。福祉の面もそうですが、先進地のアイディアを取り入れるといった試みは、大変素晴らしいと思いますので、また各地区のお手本となられるように頑張っていっていただきたいと思います。

≪土岐地区≫

※報告後

〇委員

防災の強化事業ですけども、こちらについては、どのように切り替えていくつもりですか。

●土岐地区

机上の訓練だけでは、物足りないので、なるべく実践的な訓練を取り入れていきたいと思います。順次行っていくつもりです。

〇委員

花いっぱい事業のひろがり花壇については、どちらに配置してありますか。

●土岐地区

実は、諸々の事情から、現在はひろがり花壇については、廃止しております。

【講評（市長)】

防災運動会について、私も何回も参加させていただいておりますが、専門家からも高い評価をいただいていらっしゃって、素晴らしいことです。ただ一定の実績があったということで、昨年からはより実践的な内容にするために、切り替えられました。実践的な学びができて、体験型も多く、これからより期待したいところです。瑞浪市はいずれ大きな災害に見舞われる可能性も大いにありますので、常に今から準備していただくことは大変ありがたいことです。ぜひ、この学ぼうさいも、運動会以上の事業に育てていっていただきたいと思います。また、さわやかウォーキングなど、他地区、JR さんとも連携取っていただいていますので、来年度以降も期待しております。よろしくお願いいたします。

令和元年度　夢づくり地域交付金ステップアップ事業

≪土岐地区まちづくり推進協議会≫

※報告後

〇委員

登城される方が増えているとのことですが、地域の方の人数等は分かりますか。

●土岐地区

総人数は把握しつつあるのですが、どちらから来られたかということまでは分かりません。
感覚的なもので申し訳ありませんが、お城はどこにありますかといったことをよく聞かれますので、
かなり外からの方が増えているなと感じています。
また総人数ですが、この整備が終わるまでは、約 1,000 人でしたが、さわやかウォーキングをする前で、

現在すでに、約 1,000 人来場されていますので、おそらく倍増はするのではないかと思っています。観光協会さんに鶴ヶ城跡の案内看板も立ててもらいました。また駐車場も確保したので、またさらに期待するところです。ただ、御城印も作ったのですが、それを販売する場所がないので、そちらについて検討しています。

〇委員

駐車場はどこにありますか。私も伺ったのですが、分からなかったので。

●土岐地区

秋葉組の集会所です。看板が小さくてすみません。もう少し分かるようにしたいと思います。

【講評（市長）】

素晴らしいスライドも作成いただきありがとうございました。事業内容について大変よく分かりました。新型コロナウイルスによる、大河ドラマの延期等の影響がなければ、もっと多くの皆さんに来ていただいていただろうと思います。昨年このドラマを見越して事業を計画されました。新聞にも大きく取り上げられていました。今後は、鶴ヶ城跡を観光の拠点として、まちづくりとしても活用していきたいとのお話もありましたし、ぜひとも活用していただきたいと思います。市としても、大切な観光資源ですので、観光協会とも連携してバックアップしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

【次第４　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫

以上